

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月10日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4名	10名		2名	16名/16名

前回の改善計画
初回利用前に事前の情報確認を昼礼を通じ、職員全体で共有を図る。 利用開始のタイミングによっては事前に自宅に行く機会を持ち、互いに顔が分かったスタートを調整する。
前回の改善計画に対する取組結果
・基本情報を事前にしっかり把握し訪問をスタートできた。また、ご利用者の身体状態、住宅環境を把握するために事前訪問を実施した。 ・支援開始直後は、その都度、昼礼を通して細かな情報の申し送りを行った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4名	9名	3名		16名/16名
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3名	9名	4名		16名/16名
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	6名	9名	1名		16名/16名
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりの為の配慮をしていますか？	5名	8名	3名		16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・可能な限りサービス開始前に自宅訪問し、本人と顔合わせを行い関係作りの一助とした。 ・ケアマネジャーからの情報の読み込み、実際の支援とのすり合わせや追加の情報等を共有した。 ・記録物から情報が読み取りにくい内容は、口頭で申し送った。 ・個別対応を心掛けた。 ・積極的な声掛けや寄り添い、不安軽減に努めた。また、リラックスしていただけるよう笑顔での対応を心掛けた。

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・短期間でのサービス開始のケースにおいては、情報共有が十分ではない場合がある。 ・介護者の意向（ニーズ）とご本人のニーズとの温度差があると感じ、スムーズな支援ができなかった。 ・ご利用者とうまくコミュニケーションが図れず、支援ができないことがあった。 ・初めて介護サービス利用をする方は、抵抗感があったのか不機嫌な様子も伺えた。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・短期間でのサービス開始や情報量が十分でない初期支援については、記録に加え、細かい内容を口頭で申し送る等、支援のばらつきが生じないように努める。 ・初めて介護サービスを利用する方は、まず関係性の構築に力を入れ支援を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月10日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3名	5名	6名	2名	16名/16名

前回の改善計画
本人より意見や気持ちを聞き取り、確認の場を設ける。聞き取った内容や本人の「～したい」を職員間でしっかりと把握する。聞き取りを行った際に把握した情報は、ご利用者の担当が「暮らしのかかわりシート」の記入に努める。
前回の改善計画に対する取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時の何気ない会話を記録し、気持ちやニーズの汲み取りに努めた。また、全職員に周知できるよう記録の最初に印を付け、意識出来るよう工夫した。 ・「暮らしの情報シート」への記載に繋がらなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4名	7名	4名	1名	16名/16名
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4名	8名	4名		16名/16名
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりができていますか?	4名	9名	3名		16名/16名
④ 実践した(かかった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	5名	6名	4名	1名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画書を基本とし、当面の目標は、理解しており定期的に達成状況を確認している。 ・満足度調査を行い、ご利用者、ご家族の気持ちの把握に努めている。 ・「～したい」の実現が困難な場合でも、本人の気持ちに寄り添い支援している。また、適宜ご家族に伝える等支援に繋げている。 ・本人の気持ちやニーズは、積極的に記録に残した。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方の「～したい」の把握が不十分である。 ・ご家族の協力が得られず、「～したい」の実現が困難な場合もある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、「本人がどうしたいか」や生活の中の小さな「～したい」を大切に考え、「暮らしの情報シート」への記入を行い情報の共有を行い全体での支援に繋げる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月10日

3. 日常生活の支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3名	10名	3名		16名/16名

前回の改善計画
<p>タブレットの記録は簡素化がメリットだが、支援したことなど決まった内容だけでなく、本人をしっかりと観察し、表情や様子を記録に残し、異変に気付けるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組結果
<p>・「暮らしの情報シート」の記録が増えない状況だった。原因として記載の意識が定着していないことと情報シートが記録用タブレットと別になっており、適宜追記できない状況だった。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2名	4名	9名	1名	16名/16名
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7名	9名			16名/16名
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3名	8名	4名	1名	16名/16名
③	本人の気持ちや体調の変化に気付いたとき、その都度共有していますか?	7名	9名			16名/16名
④	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6名	7名	3名		16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員が自らの視点で、ご利用者の変化について発信できている。 毎日の昼礼を活用し情報共有、支援内容を話し合っている。 記録においては、情報共有の観点から「重要度」の印を用いるなど、ポイントを的確に伝えられていた。 身体状況の記録だけでなく、気持ちや表情、具体的な言葉の記録も行った。 「普段の生活」を大切に支援を組み立てた。 「声にならない声」を汲み取ろうと支援している。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 「以前の暮らし方」の把握が不十分である。 経済的な課題や家族の意向により、ニーズや気持ちを支援に繋がられないことがある。 必要な支援と思われることでも、本人の理解が追いついていない場合もあり、介入が困難であった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 「暮らしの情報シート」の記録をタブレットでの記録に変更し情報量の増加、活用を促す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月10日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2名	5名	7名	2名	16名/16名

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のミーティングで、社会資源について改めて学ぶ機会を持つ。 ・地域との関わりを持つために、センターでの地域啓発活動のミーティングに担当以外も参加する。
前回の改善計画に対する取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし活動のミーティングには、管理者や担当者の出席だが、実際の活動には、一般職員が出向き、地域の方への発信、交流を持つことができた。 ・定期的な社会資源の勉強会には、至らなかったが、個別の支援を通して理解は深められた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	3名	9名	3名	1名	16名/16名
② 本人と、家族・介護者や地域との関係がきれないように支援していますか?	3名	10名	3名		16名/16名
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2名	7名	6名	1名	16名/16名
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1名	6名	7名	2名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・一部だが、民生委員や近所の方と関わりがあるご利用者を把握できた。 ・ご利用者、ご家族とのコミュニケーションからこれまでの暮らしぶりが把握できた。 ・地域の方との交流の場「こよし会」の立ち上げができた。 ・個別の支援の実践を通して、社会資源や制度の学びを深めることができた。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の友人、近所との関係は、特定の利用者だけの把握に留まる。 ・地域啓発活動が担当職員だけになってしまい、職員の意識としては偏りがあると思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域啓発活動については、全職員が持ち回りで担当し、主体的に取り組むを行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月10日

5. 多機能性のある柔軟な支援

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5名	10名	1名		16名/16名

前回の改善計画	日々の利用者の変化を昼礼で共有を行い、希望する支援、必要な支援を洗い出し、実践を行う。
前回の改善計画に対する取組結果	昼礼に加え、支援経過の記録がタブレット（電子化）となり、本人の言葉、ニーズ、ご家族のニーズ等、様々な情報を分かりやすく記載できることにより、共有、管理がスムーズになった。その結果、支援に繋がられた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支援しようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	7名	6名	2名	1名	16名/16名
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9名	6名	1名		16名/16名
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有する事ができていますか?	7名	9名			16名/16名
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9名	7名			16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族の心身の状況に合わせた支援をスピード感を持って柔軟に対応できた。 ・状態変化に伴う支援の際には、ご利用者の希望、生活習慣、リスク等多角的な視点を持ち話し合うことができた。 ・社会資源を活用できている。・記録から「変化」に気づき共有出来るように分かりやすく記号をつけた。 ・「発した言葉」を記録に残し気持ちの共有もできるようにした。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「心身の悪化」等の記録が多く本人の「強み」「できている事」等の記録が少ない。 ・地域資源の把握が不十分であり活用し切れていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の強み（良い点）や潜在的ニーズや気持ち、又その変化に気付けるよう日々の関わりを積極的にもち記録し共有を図る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月10日

6. 連携・協働

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2名	10名	2名	2名	16名/16名

前回の改善計画
福祉用具や訪問看護、包括支援センターなどの事業所・機関との連携、報告がスムーズに行えるように職員全体で関わりを持っていく。地域のニーズを把握し、広報、立て看板などサポートセンターの啓発活動を職員全体で実施していく。
前回の改善計画に対する取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が利用している各種関係機関は共有されており、必要に応じて連携の対応は、一般職員でも可能であった。 ・地域交流として「こよし会」の立ち上げができ、ミニ介護講座等の実施ができた。 ・継続して広報誌の発行、内容も工夫され、充実したものとなった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1名	3名	5名	7名	16名/16名
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1名	2名	5名	7名	15 16名/16名
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2名	2名	4名	8名	16名/16名
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1名	1名	5名	9名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が利用している訪問看護や福祉用具との情報交換が出来ている。 ・包括支援センターからの相談や紹介があり関係性が出てきていると感じる。 ・宅配弁当業者や自費ヘルパー事業者と連携し支援を行った。 ・地域への事業所内容の発信として継続して広報誌の発行が出来ている。 ・地域の祭りでお神輿がセンターに来所し交流が見られた。 ・新しく「こよし会」の立ち上げを行い、地域の方々と関係性を深める事に繋がった。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、地域の会議にはケアマネージャーが中心となって参加をしていることから、一般職員の参加は少ない。 ・コロナ前のような地域交流スペースの活用ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議、担当者会議、地域との交流の機会に全職員が主体性を持って取り組み、参加する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年9月10日
7. 運営	メンバー	16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3名	5名	7名	1名	16名/16名

前回の改善計画	職員自身が自事業所のサービス内容、加算の内容について把握し、改めてサービスについて学びを深める。 運営推進会議への参加、会議録の熟読を行い、地域の状況把握に努める。
前回の改善計画に対する取組結果	・管理者以外の職員も運営推進会議への参加が徐々に増え、地域の意見を聞く良い機会となった。また、運営推進会議を通して、自事業所の現状を客観的に把握することができ学びを深められた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所の在り方について、職員として意見を言うことができているか?	3名	4名	8名	1名	16名/16名
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4名	7名	5名		16名/16名
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3名	5名	8名		16名/16名
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と共同した取り組みを行っていますか?	4名	2名	9名	1名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・職員が順番に運営推進会議に出席し、事業所運営の在り方や地域との関り、地域の声を聞くことが出来ている。・運営推進会議の議事録を見て内容の把握に努めている。・ご利用者やご家族からの意見等は即時に検討、改善に繋げている。・事業所のサービス内容、加算等の把握によりケアの内容との結びつきが理解できた。・コロナ禍を経て地域への取り組みが徐々に戻ってきている。例：こよし会</p>	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・運営に関して意見を発信することが出来ていない。 ・地域との関わりがまだ少なく、地域の意見が把握できていない。 ・地域の会議に参加できていない</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・コロナ禍を経て地域交流が再開し「こよし会」「民児協でのミニ研修会」の活動の充実を図る。また、全職員が参加し地域の声に触れ、少しでも顔を知ってもらおう機会を持つ。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月10日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	4名	6名	5名	1名	16名/16名

前回の改善計画
ひやりハット・ニヤリハットの記録を継続して行い、職員間での意識の水準を合わせ、様々な要因へのリスクマネジメントを行う。 目標値「1週間に1回はヒヤリはっと・ニヤリはっとの記録を行う」
前回の改善計画に対する取組結果
・書面からタブレット（電子化）の記載になり、「ヒヤリハット」の記載は、目標値を達成できたが、「ニヤリはっと」の記載はほとんどなかった。 ・職員間でのリスク管理の気づきに繋がった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか？	2名	6名	6名	2名	16名/16名
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	1名	4名	6名	5名	16名/16名
③	地域連絡会に参加していますか？	1名	1名	6名	8名	16名/16名
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか？	4名	8名	3名	1名	16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
・「ヒヤリはっと」の意識付けは高く、記録も一定数あることで、事故の未然防止に繋がっている。 ・園外研修を通して、知識の広がりや発見があり、スキルアップに繋がった。 ・センター内研修では、知識の定着、また、研修を担当することで学びを深めることができた。 ・介護実践を通し、職員間で話し合うことで、スキルアップできた。	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・勤務の都合等で、職場内・外の研修にほとんど参加できていない。 ・同じヒヤリハットを繰り返してしまう。 ・ヒヤリハット・ニヤリハットの気づきが少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・日々のケアの中で、ご利用者の強みに気づける視点を持ち「ニヤリハット」の記録を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年9月10日

9. 人権・プライバシー

メンバー 16名

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3名	7名	4名	2名	16名/16名

前回の改善計画
<p>接遇改善への効果も表れているので、接遇リーダーを設置する接遇対策を今年度も継続し行う。 プライバシーに対しての意識づけを昼礼やミーティングで確認する機会を持つ。</p>
前回の改善計画に対する取組結果
<p>・接遇対策の意識づけは定着が図られていると感じる。しかし、無意識な不適切な発言もあった。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束していない	14名	2名			16名/16名
②	虐待は行われていない	16名				16名/16名
③	プライバシーが守られている	12名	3名	1名		16名/16名
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7名	3名	3名	3名	16名/16名
④	適正な個人情報の管理ができています	11名	3名	2名		16名/16名

できている点	200字以内程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が交代で「接遇リーダー」の役割を担い、他職員の良い点や不適切な点を挙げ自身で振り返ることができた。特に言葉遣いには気を付けている。 ・身体拘束・虐待には意識を高く持ち行われていない。 ・成年後見人制度を必要な方に活用できている。 ・経過記録や情報伝達が、電子化されていることから端末の置き忘れ、ロックの管理等に注意を払っている。 	

できていない点	200字以内程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りや排泄等の情報交換の際に配慮に欠け、利用者に聞こえてる事がある為プライバシーが守られていないと感じた。 ・「スピーチロック」に当たる不適切な言葉がけがあった。例：「ちょっと待ってください」が多かったと感じた。 ・接遇リーダーの取り組みが継続しなかった。 ・「成年後見人制度」の理解が不十分である。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・不適切ケアへの意識を持ち、ご利用者個々の尊厳を守るケアの確認をチームとして確認を行い、声を出し合う。 	